

A矮小低木で匍匐する 芽鱗は片側で離生することなく帽子状
B山地-低地生

C葉は対生もある;50mm以下、巾2-5mm 細葉(ノヤナギ節)
(SGOHY、丸<中国四国絶滅>、向陽草地)(矮小低木;葉334細)【16ノヤナギ】

成葉は表灰緑、微細毛散生;裏粉白、伏長毛密か、散生;凹脈裏凸;全縁
葉は長楕円-楕円状被針形;小葉で15-30mm×巾2-5mm、大葉で30-50mm×巾5-15mm
葉柄1-7mm、短毛密 托葉は斜卵形、3-10mm
?新葉?は側縁が裏巻きする(HY縁は裏側に巻く、G全縁で狭く裏に反る)
小枝に灰短毛密、後無毛、黄褐-暗褐色;小隆起条散在 丈50cm

(G;西日本の高地に、丈低く葉も小さく、花序も小さいので他種とは区別しやすい)

C葉は総て互生;70-130mm、巾15-30mm 広葉(ネコヤナギ節1)(DATAはネコヤナギのもの)
(SG栽培)(矮小低木;葉3広)【32ハイネコヤナギ=ネコシダレV】

新葉は両面銀白毛密生;毛は次第に脱落する
葉表は全面白毛多数 ほぼ無毛;中脈は白毛密生 微毛多数
葉裏は銀白毛密生 短毛やや多数;中脈は毛密生 毛やや多数
葉表は毛多く白緑 緑、無艶;葉裏は白色 粉白-銀緑色
中脈は両凸;葉表は側脈凸-やや凹感;葉裏は側脈・細脈ともに凸
;細脈は横走;側脈は間隔狭く多数、ほぼゆれず上半部で特に強く弓曲直上する
弧状鋸歯-ひら凸鋸歯;縁狭く裏に強く反る
葉は長楕円形、50-130mm、巾15-30mm;革質
葉柄は毛密生 微毛密生 葉柄5-20mm
托葉は鋭頭卵形;毛密生し縁は一見全縁;成葉にも少し残る 6-10mm
新葉はやや帯淡赤、縁に赤味あり
新枝は毛極密生 本年枝は上部密毛、中部で冬芽付近のみ有毛、後無毛 隆起条あるが余り鋭くない
幹這うが、立って植えると枝垂れる